

第10回こどものための ジオカーニバル

2009年11月7日・8日に大阪市立科学館で開催された第10回ジオ・カーニバルに出展しました。出展内容は『液状化現象実験～目で見える土の動き～』です。

以下に当日の様様を紹介します。

【実験用具一式】

材料のガラスビーズ2種類とカラーサンド、ペットボトル、押しピン、輪ゴムそれに水の準備完了です。

お客さんを待ちます。



【初めてのお客さん】

小学5年生の男の子です。液状化現象のことを良く知っていました。驚きです。理科に非常に興味を持っているみたいでした。このような小学生、中学生がどんどん増えれば幸いです。

一緒に来ていたお父さんよりも良く知っていました。お父さんも子供が隣のブース（柴山理事の自然環境オフィス）で恐竜の模型を作っている間に自分も作らせてもらえないかと当ブースを訪れ、実験装置を作製しました。親子で楽しんでもらえました。



【大人の参加】

我々のブースに訪れたお客さんは大人と子供の割合がほぼ1：1でした。

開始間もないころは大人のお客さんが圧倒的に多く『こどものため』と違っていました。

特に、他の出展ブースの人や小学校、中学校等の先生方が多く集まりました。





【液状化現象の説明】

デモンストレーション用の大きいペットボトルには押しピンと乾電池が入っています。横を叩くと乾電池は沈み押しピンは浮き上がってきました。

みんな大喜びです。難しい言葉で説明する必要はありません。「百聞は一見にしかず」。

大人も子供もみんな感激します。



【真剣な様子】

今度は子供が実際にペットボトルの横を叩きます。先ほどの現象が再現しました。何度見ても感激です。さあいよいよ自分で実験道具の作製にかかります。



【子供のお客さんが続々と参加】

大人に代って子供たちが続々と参加してくれました。みんな自分たちの液状化実験道具を自分の手で作ります。

興味津々でガラスビーズをペットボトルに入れていきます。入れる際には紙をうまく丸めて作製した手製のロートを使用します。

こぼさないように注意して3種類の粉を入れます。それから押しピンをいれペットボトルに水を満杯入れ最後にペットボトルに輪ゴムをかけます。

【実験装置完成】

さあ、オリジナルの実験装置が完成です。皆さんそれぞれ何回も実験してください。お忘れのないようにお願いいたします。

昼ごはんを食べている間に無くしてしまった子供がもう一度作らせて欲しいとやってきました。また、誰か他の子供が持っているのを見た子供が欲しくなったのでしょうか、しかし、子供はセミナーの時間なので、代わりにお母さんが2本くださいと注文です。売り物ではないのですがその勢いに負けてサンプル用のものを差し上げました。



訪れてくれたお客さんは160人です。材料は2日目(8日)の午後2時でなくなってしまうました。後から他の人の評判を聞いて訪れてきた人たちにはまことに申し訳ないことをしました。

『以上』